

IR室 活動・分析事例(2022年)

2022年9月 IR室

(2021年度活動)

・学生・卒業生調査

- 新入生アンケート 対象:1年(入学時)調査票による調査
- 在校生アンケート 対象:1~3年(12月)オンライン調査
- 卒業時アンケート 対象:4年(3月)調査票による調査
- 卒業後アンケート 対象:卒業後3年経過した卒業生(12~1月)オンラインによる調査
- PROGテスト/GPA/高校評定平均/入学時基礎学力テスト比較分析
- 修得単位、離学率、授業アンケート、就職先アンケート等の集計・学内提供

・学内自己点検・評価におけるアセスメントデータの提供

3つのポリシーを踏まえた新しい自己点検・評価制度の実施に伴い、各部署よりアセスメントのためのデータを収集・集計し、IR室所有データと併せ提供し、データを活用した自己点検・評価の実施を支援した。

(2022年度活動)

従前の活動に加え、下記の分析を新たに開始した。

- 離学に至る原因の調査
- 受験生のオープンキャンパス参加状況
- 入試種別毎の学力・就職力調査

<分析事例1> オープンキャンパスの参加と入試出願の関係

オープンキャンパスの月次参加者数と入試の出願の関係を分析した結果、以下のことが判明した。

- ・2月以前に(高1・高2の段階)OCに参加した生徒は出願率が高い。
- ・5月のOC参加者は推薦入試に出願する可能性が高い。
- ・8月になるとOC参加者数は増えるものの出願率は大きく低下する。

<分析事例2 入試種別毎の就職力・学力の比較>

入試種別(推薦入試、一般入試)の就職内定時期、学力の比較を行った結果、以下のことが判明した。

- ・一般入試組よりも推薦入試組の方が若干早く就職先が決まる傾向がある。
- ・就職内定時期について入試種別間で大きな差異は認められない。
- ・入学後の受講科目に対する成績評価について入試種別間で大きな差異は認められない。

上記の2分析及び出身校別の受験者数、合格者数の分析等を、2022年7月大学教授会、2022年9月夏期運営委員会に報告し提案を行った。また分析結果を経営現場へフィードバックする環境や、経営現場と分析担当者(IR室)の間で連携を取り、PDCAサイクルを回すことの重要性、データウェアハウスの構築について提案を行った。

以上